学校番号	３０２６

令和８年度　グローバル探究科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
(学)グローバル探究科	(学) 英語文化システム探究Ⅰ	3	第二学年	Evergreen English Grammar システム英単語

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語文化システム探究 Ⅰの授業は、文法事項の学習を中心に「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という 4 技能の力を付けるための授業です。題を設定し、ペアやグループで英語を用いてやり取りする言語 活動を多く行います。積極的な参加を期待しています。
・語彙や文法については、文脈の中でどのような働きをするかを理解しながら学習することが大切です。単なる 理解にとどまらず、英語を使って「発信する」ということを意識して授業に取り組みましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	システム英単語の音源を使用して音読することで、正確な単語の発音を理解し、自分でも発音できるようにする。毎回の授業で行うことで、リスニング力向上にも役立てる。授業内のディスカッションにおいて相手の話を傾聴することで、どんなレベルの英語でも聞き取れるようにし、どんな国籍や背景の人の英語も聞き取れるようになる。	問題集の文法は基本をほとんどすべて押さえているので、学習する内容をすべて理解し、大学受験の長文読解を読んで理解できるようになる。参考書に載っている細かい文法に関しても授業中に触れるようにすることで、資格試験においてもスラスラ読めるようになる。	毎回行うディスカッションで、あらゆる話題に関して話すので、どんな話題でも自分の意見が言えるようになる。ディスカッションでは相手の意見も聞くので、相手の反応や意見に応じて自分の発言を調節するなどの能力が身につく。	ディスカッションでは毎回パートナーを変えて行うので、人前で自分の意見を言うことが日常となり、英語での発表にも慣れることができる。また、ディスカッションを通して他者の意見との折衝をはかる必要もあるため、発表においても他者を配慮した発言ができるようになる。	文法を学習すると同時に、英作文の問題にも取り組むために、正確な文をかけるようになる。エッセイの課題を通して正確な文法を使いこなし、添削を経てより洗練された文章を書くことができるようになる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的 確に評価できる方法で実施。	・CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 ・言語の背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。	・積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 20 ～27	聞くこと	a. 単語帳の音声を使って単語の発音だけでなく、使い方も覚えられる例文を聞いて内容を瞬時に理解できるようになっているか。 b. 様々な音源を聞いて既習の文法を使い英語要約ができるか。 c. メモをとることや発声トレーニング中に真剣に取り組んでいるか。	定期テスト(a) (b) 小テスト
		読むこと	a. Lesson１～７で習う文法を使った例文を読み、訳ができるようなっているか。 b. 文の内容を理解し、適切に既習の文法を使って表現できるか。 c. 洋書の読書課題をどのように進められているか。	定期テスト(a) (b) 小テスト(a) (b)
		話すこと (やり取り)	a. 得た知識を目的に応じて適切に使って伝えることができるか。 b. 活動の目的に応じて、論理性に注意しながら、理解した様々な情報を活用して適切に伝え合うことができるか。 c. 場面や目的に応じて，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているか。相手の話を真剣に聞き、適切な相槌や質問や意見が言えているか。	スピーキングタスク(b) (c)
		話すこと （発表）	a. 得た知識を目的に応じて適切に使って伝えることができる。 b. 活動の目的に応じて、論理性に注意しながら、理解した様々な情報を活用して適切に伝えることができるか。 c. 聞き手の立場を考え、話すスピードや使用する単語や文法に配慮ができているか。	スピーキングタスク(b) (c)
		書くこと	a. 得た知識を目的に応じて適切に使って表現できる。 b. 活動の目的に応じて、論理性に注意しながら、理解した様々な情報を活用して適切に表現できるか。 c. 翻訳の際に日本語文の意図をしっかりと理解し、適切な表現ができているか。	英作問題(b) (c) ライティングタスク(c)
	期末考査			
2	Lesson28～ 34	聞くこと	a. 単語帳の音声を使って単語の発音だけでなく、使い方も覚えられる例文を聞いて内容を瞬時に理解できるようになっているか。 b. 様々な音源を聞いて既習の文法を使い英語要約ができるか。 c. メモをとることや発声トレーニング中に真剣に取り組んでいるか。	定期テスト(a) (b) 小テスト(a) (b)
		読むこと	a. Lesson１～７で習う文法を使った例文を読み、訳ができるようになっているか。 b. 文の内容を理解し、適切に既習の文法を使って表現できるか。 c. 洋書の読書課題をどのように進められているか。	定期テスト(a) (b) 小テスト(a) (b)
		話すこと （やり取り）	a. 得た知識を目的に応じて適切に使って伝えることができるか。 b. 活動の目的に応じて、論理性に注意しながら、理解した様々な情報を活用して適切に伝え合うことができるか。 c. 場面や目的に応じて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているか。相手の話を真剣に聞き、適切な相槌や質問や意見が言えているか。	スピーキングタスク(b) (c)
		話すこと （発表）	a. 得た知識を目的に応じて適切に使って伝えることができる。 b. 活動の目的に応じて、論理性に注意しながら、理解した様々な情報を活用して適切に伝えることができるか。 c. 聞き手の立場を考え、話すスピードや使用する単語や文法に配慮ができているか。	スピーキングタスク(b) (c)
		書くこと	a. 得た知識を目的に応じて適切に使って表現できる。 b. 活動の目的に応じて、論理性に注意しながら、理解した様々な情報を活用して適切に表現できるか。 c. 翻訳の際に日本語文の意図をしっかりと理解し、適切な表現ができているか。	英作問題(b) (c) ライティングタスク(c)
	期末考査			

3	Lesson35～	聞くこと	a. 単語帳の音声を使って単語の発音だけでなく、使い方も覚えられる例文を聞いて内容を瞬時に理解できるようになっているか。 b. 様々な音源を聞いて既習の文法を使い英語要約ができるか。 c. メモをとることや発声トレーニング中に真剣に取り組んでいるか。	定期テスト(a) (b) 小テスト(a) (b)
		読むこと	a. Lesson１～７で習う文法を使った例文を読み、訳ができるようになっているか。 b. 文の内容を理解し、適切に既習の文法を使って表現できるか。 c. 洋書の読書課題をどのように進められているか。	定期テスト(a) (b) 小テスト(a) (b)
		話すこと (やり取り)	a. 得た知識を目的に応じて適切に使って伝えることができるか。 b. 活動の目的に応じて、論理性に注意しながら、理解した様々な情報を活用して適切に伝え合うことができるか。 c. 場面や目的に応じて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているか。相手の話を真剣に聞き、適切な相槌や質問や意見が言えているか。	スピーキングタスク (b) (c)
		話すこと （発表）	a. 得た知識を目的に応じて適切に使って伝えることができる。 b. 活動の目的に応じて、論理性に注意しながら、理解した様々な情報を活用して適切に伝えることができるか。 c. 聞き手の立場を考え、話すスピードや使用する単語や文法に配慮ができているか。	グループ発表 (b) (c)
		話すこと （発表）	a. 得た知識を目的に応じて適切に使って伝えることができる。 b. 活動の目的に応じて、論理性に注意しながら、理解した様々な情報を活用して適切に伝えることができるか。 c. 聞き手の立場を考え、話すスピードや使用する単語や文法に配慮ができているか。	グループ発表 (b) (c)
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度